



# 青き楓

島高だより  
平成23年9月号  
(通巻第66号)  
長崎県立島原高等学校  
編集：情報図書部

校長室から

## 「島高PDCAシステム」

校長 辰田 幸敏



小惑星探査機「はやぶさ」のリエントリカプセルの開発に係った本田雅久さん(29回生・宇宙研究開発機構勤務)を「青楓塾」の講師として招き、7月に講演会を開催した。この講演会の感想文の中で、本田先生が話された「PDCAシステム」に触れている生徒が多かったことに驚いた。生徒たちの関心の高さを示すもので、私自身大変うれしかった。

実は、私も前任校時代から「PDCAシステム」による学校経営を行っている。簡単に図示すると次のようになる。



勉強や仕事の上で私たちは「何を」「どうする」という計画は立てるが、成し得ないことが多い。だから、私は①努力目標 ②推進方策(①を達成するための具体的な方策)③到達目標に分け、特に②では「何を」「いつ(いつまでに)」「どのようにして」「どの程度」「どうする」という観点から具体的実践的な計画を立て、③はその結果について数値化している。

何事もアバウトではなく、よく先を見通し、より具体的に詳細な計画を立てることが目標達成(自己実現)につながる。「ヨミ」と「ツメ」が大事である。

## 10月の主な行事予定

1日(土) 1・2年土曜講座	14日(金) ※月曜日の授業を実施
3日(月) 1・2年中間考査① 3年学年末考査②	15日(土) 3年対外記述模試
4日(火) 1・2年中間考査② 3年学年末考査③	16日(日) 3年対外記述模試
5日(水) 1・2年中間考査③ 3年学年末考査④	19日(水) LHR: 交通・生活安全講話
6日(木) PTA研修旅行(熊本)	22日(土) 1・2年対外実力テスト 3年県下一斉模試 島高同窓会総会(九十九ホテル)
8日(土) 3年土曜講座	23日(日) 2年対外実力テスト 3年県下一斉模試
11日(火) 1年理科「地学講座」	26日(水) LHR: 情報モラルマナー指導
12日(水) 午後: 芸術鑑賞会 出演者: 田嶋謙一 オルケストラ 場所: 島原文化会館 大ホール 教育実習(～25日)	29日(土) 3年大学別オープン模試(希望者) 30日(日) 3年大学別オープン模試(希望者) 31日(月) 県高校総合文化祭前日祭(長崎市)



## 2年 理数科 研修旅行 高大連携理科実験

【理数科主任 細田 正俊】

理数科の2年生は、9月15日(木)に長崎県立大学シーボルト校において高大連携理科実験を行いました。今回は、「腸内細菌のはたらきと健康のかかわり」「エネルギー代謝と健康度評価」「食品の変色に関する実験」の3講座に分かれ、教授や大学院生の指導の下、実験や実習に取り組みました。

### 「腸内細菌のはたらきと健康のかかわり」

同じ条件の試験管を2本ずつ用意して正確な結果がでるようにしたり、ブランクの試験管を用いたりして、大学の実験は本格的で驚きました。また途中で実験に失敗してしまった班があり、その理由をみんなで考えました。習うだけでなく、自分で考えることが大切なんだと学びました。

### 「エネルギー代謝と健康度評価」

使ったことのない器具を用いて骨密度や血管の弾力性など、自分の体を詳しく調べ、標準値と比べて今の自分の体はどうなのかを数字として知ることができました。また、健康維持のためには摂取エネルギーと消費エネルギーのバランスが大切だと改めて分かったので、今後の生活に役立てたいと思います。

### 「食品の変色に関する実験」

りんごを切った後、食塩水につけるのは当たり前のことのようにしていましたが、今回の実験で褐変を起こさないためには有効な手段だとわかりました。煮沸したものも褐変は起こりませんでした。1年生のときに酵素は熱すると働かなくなると生物の授業で習っていたので、納得できました。今までこんなに時間がかかる実験をしたことがなかったので、とても大変でした。でも、初めて目にする実験器具も多く、とても楽しかったです。



## 主な部活動成績

### ◆剣道部男子

第16回国士旗争奪剣道大会  
団体戦 第3位

### ◆剣道部女子

平成23年度国民体育大会 第31回九州ブロック団体  
少年女子 第1位 長崎県  
第16回国士旗争奪剣道大会  
団体戦 優勝



### ◆美術部

第12回高校生国際美術展  
美術の部 奨励賞 石田 桃華

### ◆社会を明るくする運動第58回中学・高校生弁論大会

島原市議会 議長賞 松島 未来

### ※先生方の活躍

#### ◆岩元一章先生

第66回九州陸上選手権大会  
100m 優勝(4連覇)



#### ◆高橋修先生

平成23年度九州ブロック相撲競技会  
及び第20回全九州相撲選手権大会  
個人・団体ともに準優勝

## 国民体育大会 (おいでませ!山口団体)

### 【出場選手】

◆剣道部女子...増田 雅 小嶺 華 阪本 皇子  
(10/2～10/4 県立下関武道館)

◆レスリング部...伊藤 優 原田 駿 松坂 誠應 佐藤 聖翔 伊藤 奨  
(10/2～10/5 周南市新南陽体育館)

◆ソフトテニス部男子...幸田 真吾 長嶋 広晃  
(10/2～10/5 宇都マテ“フレッセラ”テニスコート)

選手・監督・コーチとして、本校教職員も5名参加

岩元一章先生...成年男子陸上(100m、4×100mリレー)出場

渡邊孝経先生...剣道支援コーチ 荒木雅義先生...少年女子剣道監督

喜多龍昭先生...少年男子レスリング監督

馬場祐太郎スポーツ専門員...成年男子レスリング出場(グレコ120キロ級)





# 文化祭



マスコットキャラクター  
「ふうちゃん」

# 青楓祭2011

【Link】～響き合う思いを未来へ～

【生徒会指導部主任 谷口 英次】



オープニング



演劇



化学実験



お点前披露

今年度の文化祭は、2学期始業式と同日の9月2日(金)と3日(土)の2日間、本校ならびに島原文化会館にて行われました。今年のテーマ「Link」～響き合う思いを未来へ～のもと、「つながり」を意識した発表がいくつも見られました。例えばオープニングセレモニーでは、出演者がロウソクの火を次の人へ灯しながら、メッセージを述べる演出があったほか、全校生徒に書いてもらった「私がつながりを感じた場面」を貼り合わせて、巨大な「Link」の文字にしたものを披露しました。

今年から文化祭は、毎年同じ規模で実施することになり、クラス発表も毎年行われます。生徒会指導部ではクラス発表の充実のため、担当生徒へのアドバイスや、取り組み時間の確保について努力しました。今年のクラス発表は、楽しい演劇やビデオ作品、巨大なモザイクアートなど、工夫と努力のあとが感じられるものが多く、食物バザーも昨年同様に大盛況でした。文化部の発表は今年も、日々積み上げてきたレベルの高さを感じさせてくれるものでした。また、昨年に続き、PTAと職員による合唱および展示発表も行われ、文化祭に花を添えてもらいました。

生徒達は、文化祭への取り組みを通じて、身近な仲間との「つながり」を感じながら、ひとつのことを成し遂げる喜びや感動を味わうことができたようでした。



管弦楽演奏



合唱



影絵



朗読



PTA「合唱」



モザイクアート  
(なでしこJAPAN)



食物バザー



弁論発表



ピタゴラスイッチ



炬火



伝統の『サークル』

# 体育祭

【体育科 喜多 龍昭】

第63回体育祭を9月11日に開催し、無事に終了することができました。8月29日の結団式からの短い期間、班長・リーダー長を中心に各班結束し、競技・応援のための準備に励み、それぞれの役割を十分に果たした活動の成果だと思います。

当日は絶好の秋空の下、午前9時いよいよスタート。各班とも妥協せず厳しい練習を繰り返した「全校生徒による入場行進」は、高校生らしいさわやかさと堂々としたたくましさを感じさせるものでした。競技においても、学年を越えて最後まで全力で取り組む姿が感動を呼び、なかでもリレー競技(400MR、800MR、学級対抗R、班別R)においては、トップが何度も入れ替わり、どの班が1位になるか予想のつかない展開に、応援も大変盛り上りました。また、授業の発展としての「集団行動」や「がんばらんば」は、参観された方々に若さと力強さを伝えることができたと思います。そして、班活動の集大成である「応援合戦」は、どの班も決められた時間の中で創意工夫し、差のつけられない優れたものでした。何よりも演技後の生徒たちの達成感に満ちた表情が印象に残りました。体育祭の最終種目は本校伝統の「サークル活動」。班別で競った生徒たちも島原高校の仲間として一斉に肩を組み、声高らかに「島高節」「応援歌」を合唱し、自分に、仲間に、そして学校にエールを贈り、互いに母校愛を誓い合いました。閉会式では、原田PTA副会長の音頭で万歳三唱を行い、島原高校の更なる飛躍を祈念し体育祭を終了しました。

〈終わりに〉体育祭にかける生徒の情熱とさわやかな姿は今後の島原高校を更に明るくするものであり、この体育祭での準備から終了までの取り組みが、生徒一人一人にとって大きなプラスになったものと確信します。保護者の皆様、本校近隣の皆様、ご声援、ご協力ありがとうございました。



気綱(絆)



激しい肉弾戦『島高魂』



かわいい創作ダンス



応援合戦

## 競技の部優勝班 2班 班長 寺田 知空 リーダー長 村田 大輔

今回私たち2班は、全学年のチームワークにより、競技の部で優勝することができました。私たちが優勝できたのは、1年生から3年生までが一致団結し、全力で競技に臨んだ結果だと思います。また、今回の体育祭は、学年の壁を越えた仲間たちと仲良くなることもでき、とても素晴らしい体育祭となりました。

## 応援の部優勝班 1班 班長 勝井 大輔 リーダー長 板山 航太

「応援の部優勝 1班」と言われた時は、優勝できた嬉しさとの日までやってきたことが報われた達成感とで胸の中がいっぱいでした。特に3年生は、勉強に忙しい合間を縫って応援や行進の練習に取り組んだり、1・2年生の指導をしたりと本当に大変でした。だからこそ、過去に経験した優勝の喜びとはまた違うものだったと思います。



力自慢『男の根性』



2人で1人

## 全国高校PTA連合会大会

PTA監査 前中 浩孝



「いのち 輝け!」をテーマに、第61回全国高等学校PTA連合会大会北海道大会が8月24日～26日の3日間、北海道で開催されました。本校からは、辰田校長と蒲池PTA会長と私の3人が参加しました。

25日午前、札幌コンベンションセンターにおいて1万5千人が参加して全体会が開催されました。札幌出身の精神科医・立教大学教授の香山リカ氏の基調講演「生きる力をつける処方箋」があり、参加者は興味深く耳を傾けていました。

同日午後から参加した第1分科会は「学校教育とPTA」がテーマで、4番目に島原農業高校のPTA会長が実践発表をされました。動物と触れ

合い、野菜や花を育てることで「命の大切さ」、「働くことの大切さ」を学びながら、「生きる力」を育む教育が進められている様子が発表されました。

翌26日に高校生アトラクションの後、前旭山動物園園長、小菅正夫氏による記念講演「命をつなぐ!!」がありました。「人間や動物は何のために生きているのか?」の問いに、答えは「子どもを産んで育てるために生きている」でした。動物の生態系を基調に分かりやすく講演して頂きました。

今回は、未曾有の東日本大震災後の大会であり、「いのち」に寄せる思いを存分に受け留めさせる実り多い大会であったと思います。